

きれいな  
水

飲んでいただけますか。

無溶剤形エポキシ樹脂塗料

チヨスイコート



神東塗料

# きれいな水飲んでいただけますか？

ビル、マンションの飲料水貯水水槽は、塗装して短時間で注水する必要があります。「チョスイコート」は短時間での注水が可能で、飲料水の安全性、貯水水槽の防食・保護を目的とする内面専用無溶剤形エポキシ樹脂塗料です。  
飲料水タンク以外にも工程の制約を受ける水タンク内面の塗替え塗装にも最適です。

## 塗膜品質

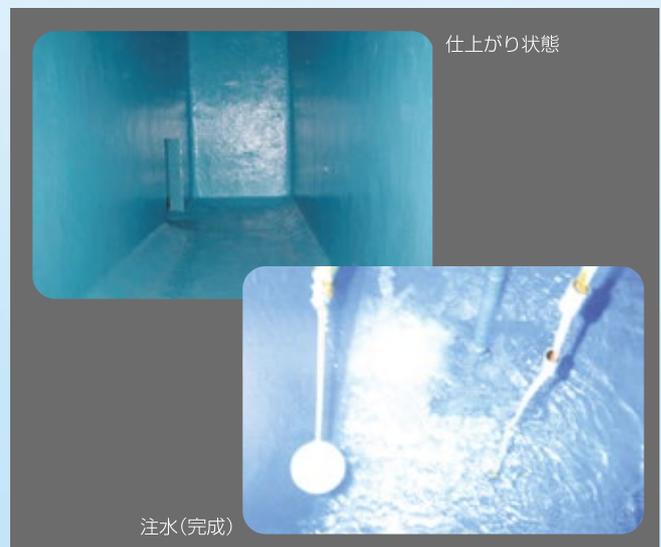
水道用無溶剤形エポキシ塗料塗装方法 (JWWA K 157:2013) に準じた表層用材料の浸出性試験による試験項目基準に適合します。

## 特長

- 1 安全な水質を保ちます。
- 2 塗装後短時間で注水が可能です。
- 3 無溶剤形塗料のため  
溶剤中毒の恐れがなく、安全です。
- 4 1回塗りで200～250 $\mu$ mの  
厚膜塗装が可能のため、優れた保護効果を  
発揮します。
- 5 はけ・ローラーで手早く、  
簡単に施工できます。  
ガラスクロスライニングに適用可能です。

## 用途

鋼製水槽、コンクリート製水槽、FRP製水槽などの内面構造部。



## 商品構成

品名	荷姿・色相			用途
	セット	基剤	硬化剤	
チョスイコート	3kg ライトブルー(日塗工69-60L近似) グレー(日塗工29-70B近似)	2kg クリーム	1kg 青 グレー	標準品 200～250 $\mu$ m/回 はけ・ローラー用
チョスイコート#100	6kg ライトブルー(日塗工69-60L近似)	4kg クリーム	2kg 青	厚膜品 500～600 $\mu$ m/回 ヘラ・コテ用

## 塗装仕様例

### ①鋼製貯水槽内面

工程	塗料名	膜厚(μm/回)	塗装方法(塗装回数)	使用量(g/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(20℃)	
1	素地調整	ISO St 3(劣化塗膜およびさび発生部は動力工具で除去し、金属面を露出させる。活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。)			4時間以内	
2	補修塗装	鉄部が露出している箇所、損傷部などは、はけでチョイスイコートを1回補修塗りをする。			直ちに次工程へ	
3	上塗	チョイスイコート	200	はけ・ローラー 1~2回	無希釈 500	1日~7日

※使用温度が加温される条件で使用される場合は、ISO Sa 2½以上での素地調整が必要となります。

### ②コンクリート水槽内面

工程	塗料名	膜厚(μm/回)	塗装方法(塗装回数)	使用量(g/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(20℃)	
1	素地調整	ディスクサンダー等によりレイタンス、エフロレッセンス、劣化塗膜等、脆弱層を除去、清掃する(pH10以下・含水率8%以下)。活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。			-	
2	下地処理	下地に著しい凹凸がある場合は、ポリマーセメントモルタル、樹脂モルタル等で下地を平滑にする。			-	
3	上塗	チョイスイコート	(250)	はけ・ローラー 2回	無希釈 630	1日~7日

※JWWA K 143に準じた塗装を行う場合は、500μm以上を確保するため、上塗工程は2回としてください。

※不陸調整が必要ない場合、工程2下地処理は不要です。

※不陸調整に用いるポリマーセメントモルタル、樹脂モルタル等は製造メーカーの仕様によって施工してください。

### ③FRP水槽内面

工程	塗料名	膜厚(μm/回)	塗装方法(塗装回数)	使用量(g/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(20℃)	
1	素地調整	サンドペーパー(#100程度)、スクレーパー等を併用し、劣化塗膜および表面に付着しているかび・藻などを除去し清掃する。活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。			-	
2	上塗	チョイスイコート	(200)	はけ・ローラー 1~2回	無希釈 500	-

※チョイスイコートについてのより詳細な情報は施工要領書をご参照ください。

## データガイド

品名		チョイスイコート				
概要	塗料のタイプ	無溶剤形エポキシ樹脂塗料				
	色相	ライトブルー・グレー				
	容量	セット	基剤	硬化剤		
		3kg	2kg	1kg		
混合比(基剤:硬化剤)	2:1(重量比)					
塗装	適正塗装方法	はけ・ローラー				
	はけ仕様	標準膜厚 200μm	標準使用量 500g/m <sup>2</sup>			
	塗装環境条件	温度 5~40℃	湿度 85%RH以下			
装	洗浄用シンナー(塗装器具の洗浄)	二液形ネオゴーサーシンナー				
		5℃	10℃	20℃	30℃	
案内	使用可能時間	90分	50分	30分	20分	
	乾燥時間	半硬化乾燥	24時間	12時間	6時間	4時間
		ハンドリング可能	48時間	24時間	12時間	8時間
		完全硬化	72時間	48時間	24時間	12時間
塗重ね間隔	MIN	1日	1日	1日	1日	
	MAX	7日	7日	7日	7日	
注:塗重ね間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を厳守してください。						

## ■取り扱いに関する一般的注意事項

### ■調合

- 1 塗装時および塗料取り扱い時は、換気を十分に行い火気厳禁です。
- 2 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。
- 3 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 4 必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など）を使用し、身体に付着しないよう注意してください。皮膚が露出する箇所には保護クリームを塗ってください。
- 5 エポキシ塗料は、体質により皮膚接触による感作性を引き起こすことがあります。
- 6 混合前の基剤／硬化剤は、夏場は直射日光や温度の高い場所に置くのを避け、日陰で風通しのよい場所に置いてください。
- 7 塗料の液温が30℃を超えると使用可能時間が極端に短くなるため、缶を水で冷やすなどして液温を15～20℃程度にしてから調合してください。
- 8 冬場は塗料粘度が高くなり、混合が難しくなる場合があります。冬場は缶をお湯で温めるなどして、液温を15～25℃程度にしてから調合してください。
- 9 開缶は原則として使用する直前にを行い、開缶したものは、その日のうちに使用してください。
- 10 混合前の基剤／硬化剤は、缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。攪拌の際には、なるべく空気巻き込みがないように電動攪拌機は低速回転でかき混ぜてください。また、一様になった基剤／硬化剤は、なるべく脱泡してから混合してください。
- 11 基剤／硬化剤を混合するときは、空気巻き込みをなるべく避けるように攪拌し、十分にかき混ぜてください。
- 12 さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。
- 13 チョイスコートは無溶剤形塗料です。シンナー添加は厳禁です。

### ■塗装

- 1 気温および被塗面温度が5℃以下、湿度85% RH以上の場合は塗装を避けてください。乾燥遅延、付着不良、外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
- 2 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は塗装を避けてください。外観不良、塗膜性能低下などの不具合を生じるおそれがあります。
- 3 被塗面に結露がある場合や、塗装後短時間で降雨、結露、降雪が予測される場合の塗装は避けてください。
- 4 コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下（ケット科学研究所製CH-2）または5%以下（ケット科学研究所製Hi500シリーズ）で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。
- 5 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 6 塗装時は、必要な保護具（帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など）を使用し、身体に付着しないよう注意してください。

- 7 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、十分に換気を行い、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 8 塗装中および塗膜乾燥中は、換気を十分に行い、貯水槽内の空気の流通を確保してください。
- 9 基剤／硬化剤調合後は、直ちに塗装し使用可能時間内に使用してください。規定時間を過ぎた塗料で塗装すると塗膜性能低下があります。
- 10 仕様に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。
- 11 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを行ってください。
- 12 塗装器具の洗浄には二液形ネオゴーサーシンナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。
- 13 塗装後注水する際は、事前に十分な乾燥時間をとり、必ず塗膜の乾燥状態を確認した上で、水洗いし注水してください。

### ■緊急時の対応

- 1 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 2 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 3 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 4 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布（ウエス）などで拭き取ってください。
- 6 万が一、火災が発生した場合はABC消火栓を用いてください。

### ■廃棄

- 1 使用済ウエス、塗料カス、ダスト等は、発熱、自然発火の危険があります。可燃物との接触を避け、速やかに水に濡らす等の予防対策を行ってください。
- 2 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。（河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。）

### ■保管

- 1 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 2 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 3 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 4 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。  
※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。  
※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

# 神東塗料

本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199	北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315	四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952	名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318	九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553	大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268	
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091	中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821	<a href="https://www.shintopaint.co.jp/">https://www.shintopaint.co.jp/</a>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。